

令和5年度島根県  
教職員の「働き方改革挑戦校」研修

小学校の実践発表資料

## A小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
行事の見直し（廃止を決めた行事もあり）	PTA活動の見直し
生活時程の確認（今年度の変更はなし）	地域との連携（登校指導等）
職員会議の削減	
ICTの推進（校務・授業）	
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
改革に向けた取り組みを職員みんなで共有し、話し合いをする。	外に向けた発信の仕方。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
余剰時数の削減	保護者との連絡のデジタル化
ICT機器のさらなる活用	

## B小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
保護者へのお知らせ、お願い	学級PTA活動に教員の参加なし
欠席連絡等のICT化	登下校指導の回数の見直し
通知表 2 学期制	指導案はA3で 1 枚に（研究会会場校であったが）
時程の見直し（月、水掃除なし、職員朝礼なし、職員会議の削減・ペーパーレス、たまに5時間）	保護者や地域へのボランティアの依頼
他校にお薦めしたい取り組みは？	
通知表 2 学期制（1 学期末面談実施、9 月末に前期通知表を渡し、3 月に後期通知表を渡す）所見は後期通知表のみ。学期末でもゆとりができる。	「教員の働き方改革」について、保護者や地域の理解を得る。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
校務分掌、学校行事の見直し	授業改善への歩み出し
時程の見直し（登下校、午前中 5 時間など検討）	

## B小学校（参考情報） ※資料や写真など

6月7日（水）

今年度、小学校は、「働き方改革挑戦校」になった。

島根県教育委員会が呼びかけ、小学校は手を挙げた。

今日は第1回目の校内研修を行った。

先生の幸せ研究所の澤田真由美先生からスーパーバイズを受けた教員。

**「大人にも子供にも学校を楽しくする！自分たちの学校は自分たちで作れる！」**

という思いで始まった。

「1日30分の時間を生み出すには」というテーマでグループごとに意見を出し合った。「できる！」

話し合いの大事な約束事のなかに「『それは無理！』とは言わないこと」「質より量が大事であること」があった。

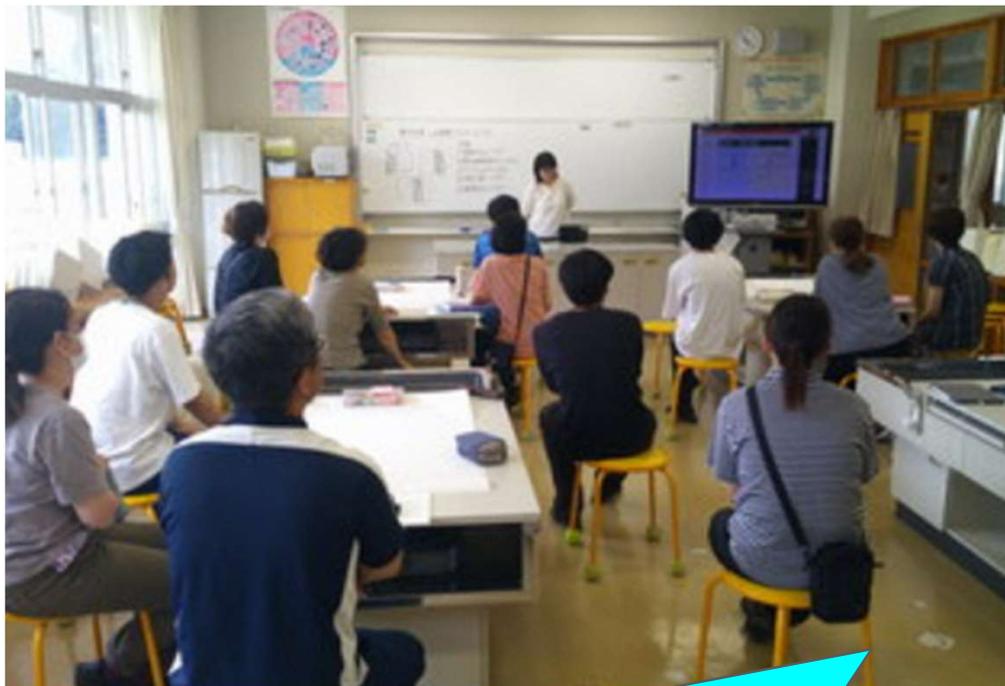
研修のはじめはみんな「できるのかな」といった表情に見えたが、研修後には「できる」に変わっていた。

今後、出された意見を働き方改革チームで整理し、プロジェクトごとに分け改革を進める。

**「元気でゆとりがある教職員は、必ず児童の笑顔や幸せにつながる」という信念のもと取り組んでいく。**

B小ホームページの「働き方改革」についての記事より

## B小学校（参考情報） ※資料や写真など



第1回「働き方改革」  
校内研修の様子

保護者の皆様

## 「通知表・年2回発行」の実施について

向暑の候 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。 〇教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、標題の件につきまして、下記のとおり本年度より年2回発行を実施することといたしました。このことについては、PTA執行部会や総会で趣旨を説明し、お知らせしていたところです。

保護者の皆様におかれましては、子供たちのよりよい成長を願っての方策であることをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1 目的

- ・1、2学期末の成績処理を長期休業中に行うことで、学期中の授業時間を確保する。
- ・日々変化する子どもの成長や変容を長い期間で捉え、通知表に反映させることができる。
- ・教職員の長時間勤務を減らし、子どもと関わる時間を増やしたり、新たな教育課題（例えば学習者用タブレットPCを用いた授業）に対応するための職員研修に時間を充てたりして、教育の質を高める。

#### 2 方法

- ・通知表の発行回数 年2回（前期4～9月、後期10～3月とします）
- ・発行時期 前期（9月下旬）、後期（3月の年度末）

#### 3 通知表の形式

- ・各教科等の学習状況を、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価します。
- ・総合的な学習の時間、特別の教科道徳、外国語活動（3,4年生）の学習内容は、長期的な視点で子どもの成長を見取るため、後期の通知表にまとめて記入します。
- ・出欠の記録は、公簿処理のため、次のように記入します。  
前期（1学期の出席状況）、後期（1年間の出席状況）

#### 4 その他

- ・学期は、3学期制（1、2、3学期）のままで変更はありません。
- ・7月上旬に個人面談を行います。その際に、1学期の学習状況や生活などについてお話しさせていただきます。夏休みや2学期以降につなげます。
- ・印欄は廃止します。

「通知表・年2回発行」  
の実施についてのお知らせ

# B小学校

## 令和4年度・5年度 超過勤務時間月平均

両年度の条件をそろえるため、4月1日～12月31日までの期間とする。  
管理職は除いた教職員（常勤）の時間とする。

### 1. 令和4年度・5年度比較

令和4年度 46時間19分

令和5年度 45時間57分

差            22分

R5 超過勤務時間の実態

### 2. 令和4年度・5年度個人比較（令和5年度異動者を除く）

増加            5

減少            7

増加した理由として考えられること

- ・ 経験のない学年の担任となったこと
- ・ 研究授業の発表者となり、準備に時間を要したこと。
- ・ 市内学校の業務を請け負ったこと
- ・ 分掌主任の業務負担が大きかったこと
- ・ 新規採用者への指導

## C小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
生活時程の見直しと改編	学校行事の見直し（スリム化）
各校務分掌の業務見直し（効率化）	通知表の構成変更
PTA活動の見直し	会議や情報共有の効率化
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
各分掌ごとに、削減・効率化・縮小できる活動を洗い出してみることに。	小さな改革でも積み重ねれば成果ありだと思います。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
別添資料参照	

# C小学校（参考情報） ※資料や写真など

教育課程等の変更や見直し・業務改善方針

R5.11.27  
教務

	活動内容	主な変更点	今後の方針・検討事項	
学 校 行 事 等	入学式	6年のみ参加 来賓案内（PTA 役員のみ）	6年のみ参加 2年生はビデオ参加	
	家庭訪問	家庭巡回	継続	
	運動会	平日・午前中開催・人数制限	継続・来賓は検討	
	プール授業	2時間単位実施 ボランティア有	継続	
	参観日	年6回→年4回	6月の参観日は懇談のみ	
	クラブ	外部講師なし・地域での発表なし	継続	
	個人懇談（通知表）	1・2学期懇談 通知表所見無	※3学期制とするが道徳・外国語・総合的な学習の所見は年度末のみとする。（要録へ転記）	
	全校朝礼・児童朝礼	児童朝礼（各月1→無） 全校朝礼（リモート有）	継続	
	学習発表会	体育館実施 鑑賞人数制限	1日2部構成で実施	
	入学説明会・一日入学	一日入学なし	一日入学はなし	
	卒業式	5年のみ参加・来賓制限 保護者人数制限	5年のみ式参列 来賓制限 1～4年 教室でリモート参加	
	チャレンジ水泳	無	継続	
	文集「これの木」	R1に廃止		
	教 育 課 程	生活時程	R1より、月曜の短縮6時間授業開始 ※外国語の授業時数が増えたため	全校 15:20下校の方向で ☆別紙による
		授業時数	クラブ・委員会 1人体制	教職員数確保 要望
授業時数		担任授業時数 22～23時間 全学年 算数科少数人数体制 全学年 体育科 2人体制	教職員数確保 要望	
遠足		行先の変更・校務分掌担当削除	早めの計画（バス借り入れ等）	
版画展出品		全校参加→R1 2・4・6年参加→ R3 希望学年	継続	
朝の読み聞かせ		学期に1回 朝習習時間に実施	学期に2回 1時間目の始め に10分程度で実施	
研究授業のもち方		1人1授業	指導案は略案で 2学期以降の研究予定可視化	

関 係	研究のまとめ	ポートフォリオ型	継続	
	県教研にむけて	運営面・資料作成など	今年度中 可能な範囲で検討	
	授業改善	ICT活用 一斉授業スタイルの変換	積極的運用	
	生 徒 指 導 関 係	地区児童会		R6より4月・7月・3月の実施 検討
		あいさつデー指導		職員の街頭指導はなし
		交通安全指導		街頭指導はなし
		生活チャレンジウイーク	実施しない	中止
		掃除	R1から縦割り班掃除開始 (それまでは、学級で振り分け)	掃除は週4回を継続、時間を1 0分としもち方を工夫
	1 年 生	縦割り班遊び	月1回実施→学期1回実施	学期に1回程度
		1 花いっぱい運動	R5 2年生と参加 R6は1年生のみ	R6から1年生のみ参加
2 地域の方にありがとうの会		コロナのため中止	2月・11月実施	
野菜苗植え 町探検		地域ボランティアさん無	ボランティアさん無で継続 3年生との整合性検討	
3 「登山 地域芸能探検 町探検		地域ボランティアさん無	継続（ボランティアさん無） 総合的な学習の時間年計検討 2年生との整合性検討	
4 総合		富田川の学習	全国財団事業取りやめ	
5 「デューサービス見学・交流 工場見学		コロナ感染症拡大防止のため中止 コロナ感染症拡大防止のため中止	総合的な学習の時間年計検討 R5より復活	
6 「餅 地産地消調理活動 地域への感謝 1人1鉢		家庭科で実施 コロナ感染症拡大防止のため中止	継続 実施の有無検討 内容を検討 別に記載	
わく わく わく		どんぐり会 ふれあい作品展 時間割	半日実施 で開催 自立活動の帯時間 週1に減	実態に応じて
P T A		学年行事	R2～R4 6年以外無 R5 全学年実施	①実施する場合 ・保護者の企画、運営で実施 ・平日の実施も検討（授業外） ・6年生のみ実施も検討 ・学校行事を振り分ける工夫 ②実施しない

関 係	体育部	球技大会 観戦会 運動会の準備 片付け 環境整備作業	中止 中止 参加（PTA 役員全員） 参加 R5より体育部参加	※学年行事も含めて、PTAの 組織の再編、活動内容の見直し 等について、役員さん等に働き かけ検討していく。合わせて、 教職員のかかわり方、参加の仕 方についても理解を得る。
	環境部	環境整備作業（5月） 池の水抜きと環境整備 作業（8月実施）	体育部・執行部と共同で実施 全保護者・教職員で実施 ※R2までは、全校児童の参加あり	
	文化部	・ベルマーク収集 ・バザー・研修		
	研修部	「山河」の発行 ・研修会	・年3回から、年2回へ ・家族研修	
	生活部	・ヘルメット調整 ・救命救急法 ・夏休みプール開放 ・危険物取扱付 ・自転車教室	中止 無 無	
民生児童委員さんとの会		コロナ感染症拡大防止のため中止	管理職の参加	

### 【その他の業務改善と見直し】

- ①校支援による学級事務・成績処理の効率化・・・R6には、問題点が改善され、時数集計も可能に。
- ②職員会の運営・・・データによる情報共有で時短を図った。伝達のみでよいことは職員朝礼等で伝達。職員朝  
礼もなくす方向。協議が必要なことについては、各分掌部会や企画会等で協議し、合意形  
成を経てから職員会で提案し、職員会の効率的な運用を図る。  
※文書のデータ化により、提案文書の稟議が行われていないことがあり、注意が必要。ま  
た、メール回答の文書が、稟議を通さず報告されている場合もあるようなので注意。
- ③学級事務・・・支援員・SSSの配置による学級事務の軽減。
- ④職員厚生・・・茶話会購入品の負担軽減。
- ⑤学校環境整備・・・エアコン掃除・草刈り・庭の整備など、校務員さんの支援だ。
- ⑥学校事務に係る業務改善  
・ネットバンクによる学級会計事務の軽減
- ⑦校務分掌の見直し  
※学校評価にも記載・・・R6からは、校務分掌のしぼりを見直す（〇〇の分掌は●年がもつ等）
- ⑧各種コンクールの参加・応募  
・夏休みの作品募集の精選

【従来の生活時程】

生活時程（赤字はチャイム）

項目	普通時程	短縮時程	全校(児童)朝礼時程
登校	8:00 ~ 8:15		
朝学習	8:20 ~ 8:35		8:20~8:25移動
職員朝礼	8:25 ~ 8:35	普通時程と同じ	
全校(児童)朝礼			8:25 ~ 8:40
学級朝礼	8:40 ~ 8:50		8:40 ~ 8:50
1校時	8:50 ~ 9:35	8:50~9:30	
2校時	9:40 ~ 10:25	9:35~10:15	
業間	10:25 ~ 10:45	10:15~10:35	以降、普通時程と同じ
3校時	10:50 ~ 11:35	10:40~11:20	
4校時	11:40 ~ 12:25	11:25~12:05	
給食	12:25 ~ 13:10	12:05~12:50	
昼休み	13:10 ~ 13:35	12:50~13:10	ロング昼休み (毎週木曜日) 13:10~ 13:55
そうじ	13:40 ~ 13:55	13:15~13:30	
5校時	14:05 ~ 14:50	13:40~14:20	
6校時	14:55 ~ 15:40	14:25~15:05	委員会 (第1・3木曜) 15:15~16:00 クラブ (第2・4木曜) 15:15~16:15
終礼	5校時の日 14:55~15:10 短縮6校時の日 15:05~15:20 6校時の日 15:45~16:00		
下校	5校時・短縮6校時の日 6校時の日		15:20 16:30

【15:20 下校の新生活時程】

生活時程（赤字はチャイム）

項目	普通時程	全校朝礼時程
登校	8:00 ~ 8:15	
朝活動	8:15 ~ 8:25	学級朝礼
全校朝礼		リモート
学級朝礼	8:25 ~ 8:35	8:25 ~ 8:35
1校時	8:35 ~ 9:20	
2校時	9:25 ~ 10:10	
業間	10:10 ~ 10:25	以降、普通時程と同じ
3校時	10:30 ~ 11:15	
4校時	11:20 ~ 12:05	
給食	12:05 ~ 12:50	
昼休み	12:50 ~ 13:10	ロング昼休み (毎週木曜日) 12:50~ 13:25
そうじ	13:15 ~ 13:25	
5校時	13:30 ~ 14:15	
6校時	14:20 ~ 15:05	委員会・クラブ 14:30~15:15
終礼	5校時の日 14:15~14:30 6校時の日 15:05~15:20	
下校	通常時程 5校時の日	15:20 14:30

### 【生活時程について】

#### ●決定した新生活時程を、3学期に試行（1月第3週 22日～26日 予定）

- ①職員朝礼をなくす。
- ②「朝学習」の時間（20分）を「朝活動」とし、10分に短縮。
- ③1時間目の始業を15分、早める。
- ④業間休み、昼休みを5分ずつ短縮。
  - ・業間 20分→15分
  - ・昼休み 25分→20分
- ⑤掃除はこれまで通り週4回実施するが、時間を10分間に短縮。
  - ・掃除の仕方や内容、人数配分を工夫する
- ⑥クラブ活動は、45分間とし、通年で行う。
- ⑦全校15：20下校とする
  - ・保護者をはじめ、関係各所への連絡・相談を段階的に進める。
  - ・5時間目で下校する場合の、バス待機児童対応についても現在検討中。
  - ・運動会の応援練習や陸上大会の練習、行事の準備等の際の下校時刻は別途計画する。
- ⑧朝の読み聞かせは、学期に2回程度とし、1時間目の始めに行う。
- ⑨記名デーの実施については生徒指導部で検討。
- ⑩全校朝礼は、リモートで実施。
- ⑪職員の勤務時間表の変更
- ⑫これまで朝の時間に実施していた学力向上の取組や諸行事の準備、学級指導、委員会活動などは授業時間をこれにあてることとなる。児童の休憩時間の確保に努める。
- ⑬一日入学の資料には、新生活時程を配布。

### 【その他】

※市教研や市の陸上大会、連合音楽会、市図画コンクールなど、市町村単位でそのもち方を見直しできる行事等については、現場の職員の声を吸い上げ、校長会等で働きかけをしていただくことができないか。

※地域ボランティアさんがかかわる活動（感謝する会・総合的な学習にかかわる学習）については、年度当初に計画をたてて、交流センターさんと早めに打ち合わせをする。

## D小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の検討会を1回開いた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活時程を昨年度のうちに検討し、今年度から実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を学級⇒全校に変更【給食時間に職員にゆとりができた】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余剰時数の削減</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布物の精選⇒チラシ類は昇降口前に置いて、自由に取り</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価の保護者評価をメールでの返答とし、担任の手間を少し省いた。</li> </ul>	
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の検討会をして、みんなの問題点を共有して取り組みを考えたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんながやろうという気持ちに統一することは無理なので、とりあえずやってみようまで持つていくのには準備がいる。</li> </ul>
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・余剰時数の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたよりのメール配信</li> </ul>

# D小学校（参考情報） ※資料や写真など

自助

職員会議  
は伝達事項と協議事  
項をわけ

日直の見回り時  
刻を決める  
例えば16:00

朝活動を全校読書にして  
図書館で担任外の人が見る

給食は全校  
一緒に食べる

給食指導  
2クラス・全校など  
食べることで  
空き時間を作る

委員会活動の活動  
内容によって分担し  
て空き時間を確保す  
る

合同でできる学習

クラブ活動  
担当の分担安  
必要な時以外は分担  
して行う。

起案しなければならない  
文書を決める。

共助

掲示  
シール貼るだけ  
ランキング板つくる  
(知りたいことを児童  
が輪番で提案)

チラシ  
ない  
重要なもの  
み配布

ピンチな時に  
お手伝いお願いシス  
テムをつくる

校内規定を作り  
毎年同じ起案は  
しなくてよくなる

会議を極力  
減らす

だんだんタイムは担当を  
決めて2人で行う。

必要ない文書  
は配布せず捨  
てる。

出張などの申し込み  
の起案を  
別の形にする

職員会議ホルダーに起案した  
文書を残しておく

公助

職員を増やす

県や市からの  
文書を減らす

悉皆研修を  
減らす

全校での給食のねらい

- (1) 異学年という普段と違う環境の中で食べる中で正しい食事のマナー集団生活のルールを身に付ける。
- (2) 準備を異学年で協力してしようとする心を育む。
- (3) 職員の校務をする時間を増やす。

	月	火	水	木	金
給食指導	養教 教頭 1担	養教 教頭 2担	養教 教頭 3, 4担	養教 教頭 5, 6担	養教 教頭
職員室	事務 校長 2担 3, 4担 5, 6担	事務 校長 1担 3, 4担 5, 6担	事務 校長 1担 2担 5, 6担	事務 校長 1担 2担 3, 4担	事務 校長 1担 2担 3, 4担 5, 6担
コンテナ	校技	校技	校技	校技	校技

令和5年度 生活時程	
通常時程 (月・火・木)	
登校	8:00～ 8:10
当番活動	8:10～ 8:20
朝の活動	8:20～ 8:35
朝の会	8:35～ 8:45
1校時	8:45～ 9:30
2校時	9:35～10:20
業間	10:20～10:35
3校時	10:40～11:25
4校時	11:30～12:15
給食	12:15～12:55
昼休み	12:55～13:15
清掃	13:20～13:30
5校時	13:40～14:25
6校時	14:30～15:15
帰りの会	15:15～15:30
下校	15:35

1年【月～金】・2年【月・火・木・金】	
帰りの会	14:25～14:40
下校	14:45

## E小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
課題解決を重視した授業改善とカリキュラム編成	朝の余裕を生む職員朝礼の廃止（職員室WBの活用）
学校行事等の目的明確化による見直し・精選	課題解決と働き方改革を重視した分掌の業務の具体
放課後の時間を確保する生活時程の変更	ICTの効率的な活用（職員の意見集約、学校評価）
職員会議効率化（議題の軽重、時間設定、ペーパーレス）	通知表の変更（2学期の所見を面談に代える）
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
・全職員で目指す方向性（課題解決能力の育成）を明確にし、それを柱として教育活動（行事・授業）や校務（各分掌）の改善と具体を進める。	紙媒体とICTどちらもOKとするとICT活用が進まない。教職員とコミュニケーションを取って理解を広めつつできることからまず「始める」ことが必要。
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
課題解決能力に必要な業務改善案の実行（通知表の2期制）	ICTを活用した教職員間の情報共有

# E小学校（参考情報） ※資料や写真など

**①**

**②**

基本的な教育課程の考え方

・自分や他者との対話を繰り返す経験によって自分の感情をコントロールできる。

・よりよく幸せな暮らしを自分で創ろうとする経験によって、自立（律）、協働性が芽生える。

あよこトク  
道徳・持活・異年齢交流

あかるく  
やさしい子

・生活や学習とのつながり又は願いのある課題達成によって、自分事で継続した「学び」となる。

・多様な「学び方」に触れ、自分なりの取組を確保によって、対話的で深い「学び」となる。

特に生活・領域  
総合・社会

よく学び  
磨き合う子

・運動の楽しさや心地よさを味わう経験によって、生涯にわたる健康づくりの基盤をつくる。

・基本的生活習慣について「課題解決」の循環を確保することによって、継続的な取組となる。

体育・保健  
業間・昼休み

うんと遊び  
元気な子

**心の基地**  
どの子ども幸せと成長を願う存在。失敗、できないことは方法が環境や背景の問題。  
課題解決できるには、負の経験の時にこそ受容できる「場」が必要。家庭、地域の連携が大切

**③**

（総務）部の提案

R5年度（総務）部のスローガン！

子どもたちのための時間や資源を生み出す業務改善を目指して！

2. 検討（※検討項目が複数ある場合はコピーして活用してください）

検討内容 印刷費の節約について  
(1) だれのために、何のために (改善する・改善しない)

**課題解決能力を軸とした各分掌の業務改善**

主体性の姿と見直しの必要性の視点で学校行事等を精選（左）。→児童の実態等から課題解決能力を教育活動の根幹に。（中）→学校評価の結果と取組の整合性を教職員で探る。（右）

**④** 子どもの家庭での自主性の育成と業務負担軽減

木曜日の午後の時程を変更（15：30下校）。余剰を学級事務や研修にあてた。その際、一生懸命掃除に取り組む実情を踏まえ、掃除の回数を減にした。

	月・木曜日	火・水・金曜日
<b>ぞうじ</b>	(子13:27) ぞうじなし 都合のよいときに学級掃除	(子13:27) <b>13:30~13:45</b> <b>13:30~13:50</b> 子タイム(水)
<b>5校時</b>	<b>13:30~14:15</b>	<b>13:55~14:40</b>
<b>帰りの会</b>	<b>14:15~14:30</b>	<b>14:40~14:55</b>
<b>6校時</b>	(月) 4~6年 (木) 3~6年 <b>14:30~15:15</b>	(火) 4~6年 (水) 3~6年 (金) 2~6年 <b>14:55~15:40</b>
<b>下校</b>	5校時の学年 <b>14:40</b> 6校時の学年 <b>15:25</b>	5校時の学年 <b>15:05</b> 6校時の学年 <b>15:50</b>
<b>火曜日</b>	委員会・クラブ <b>15:00~16:00</b> 下校 <b>16:05</b>	

**⑤**

## F小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
宿題応援（担任外がチェックして担任へ渡す）	職員会議スリム化（回数と内容の見直し明確化）
個別の支援計画作成負担の軽減（日程等見直し）	給食応援（担任外が給食に入り担任は職員室へ）
授業時数削減（研究関係の日，学期末，3学期）	日直朝夕二人体制（職員の希望に合わせたペア）
連絡・記録のデータ化（学校日誌・欠席連絡）	
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
<p>動ける人が動けることからやってみる。そこで「変えていくことができそうだ。」という実感が共有されると、「これも変えてみたい。」が生まれてきて、次のサイクルに繋がった。</p>	<p>無理のない取り組み。働き方改革のためにある程度の時間と労力の先行投資は必要だが、難しいと感じた取り組みやそこまで必要感を感じない取り組みは見送ることも必要。また、「仕事の横流し」では根本的な解決にはならない。</p>
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
生活時程・週授業時間数の見直し	通知表の見直し

# F小学校（参考情報） ※資料や写真など

## ◎年間の取り組みの流れ

### 1 学期

- ①名刺でわりばしを折るワーク ※バイアスを取り除いていく
- ②ここが変わるといいなKJ法で共有
- ③できそうなこと（日直・プール管理のシェア等）から取り組んでみる
- ④1学期の取り組みをふりかえる → 「変えていくことができる」実感

### 夏休み

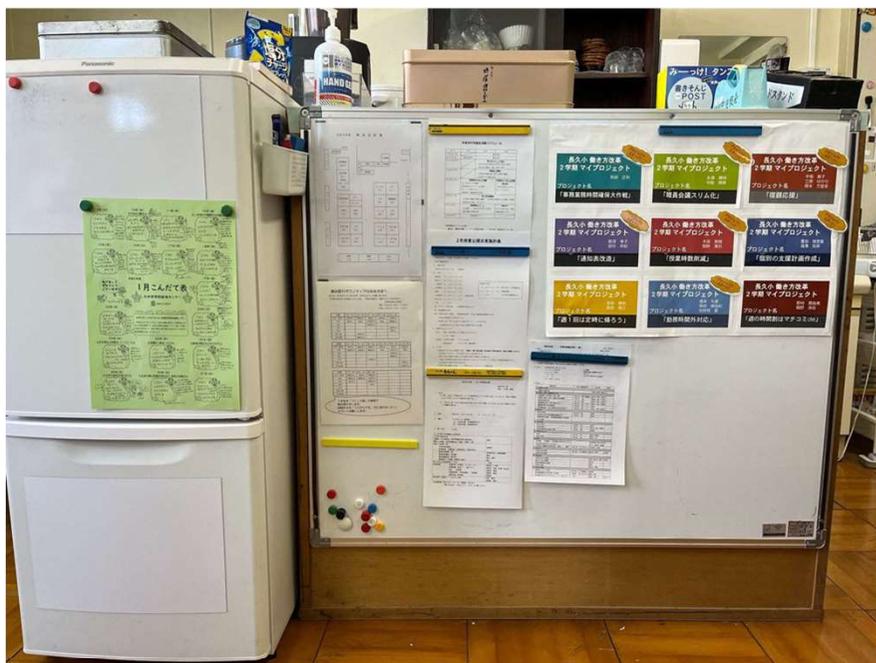
- ①個人でマイプロジェクトを考える  
※できそうなこと・こんなことやってもいいの？ということ
- ②マイプロジェクトをみんなで共有 → 9つのマイプロジェクトに整理

### 2 学期

- ①それぞれのマイプロジェクトの計画・実行
- ②2学期までの取り組みをふりかえる → 「やってみたら分かった」こと

# F小学校（参考情報） ※資料や写真など

## ◎職員室掲示物について

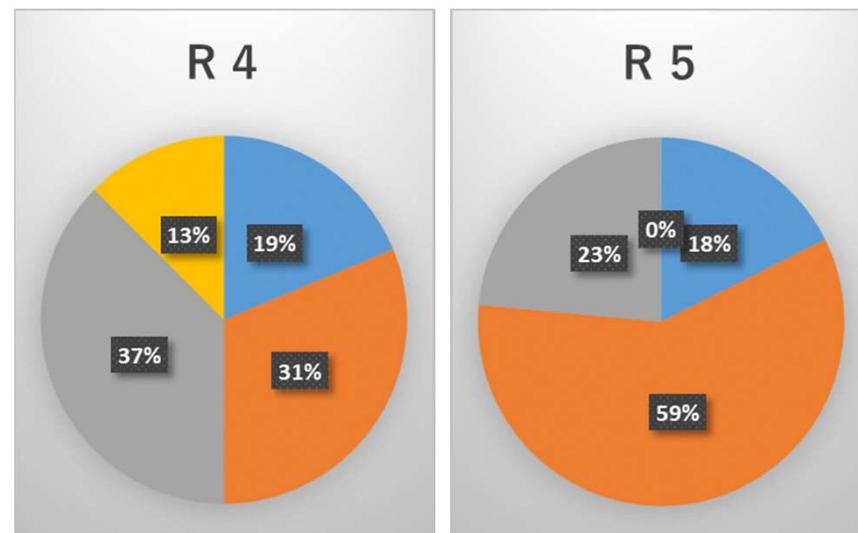
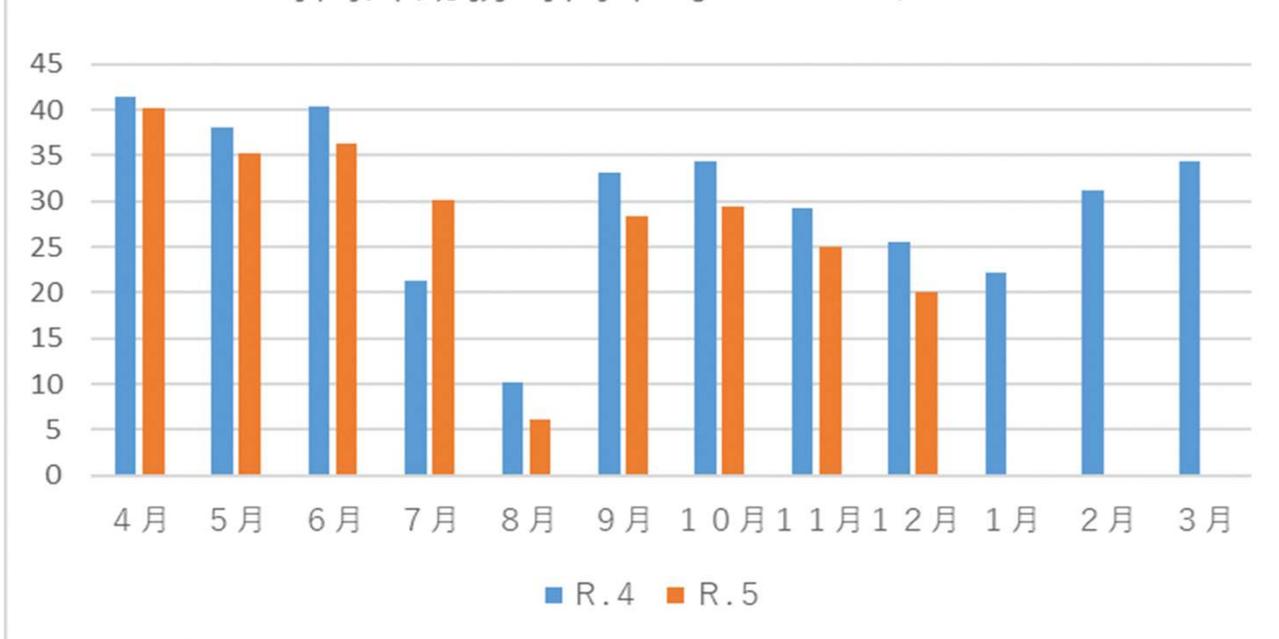


「週1回は定時に帰ろう」  
→必要感があまりない感じ  
「週の時間割はマチコミde」  
→労力に対する効果が小さい感じ

# F小学校（参考情報） ※資料や写真など

◎時間外勤務時間， 年休取得日数， ワークライフバランスなどの状況の変化

時間外勤務時間平均 R.4 → R.5



青 バランスがとれている  
 橙 どちらかといえばバランスがとれている  
 灰 どちらかというとバランスがとれていない  
 黄 バランスがとれていない

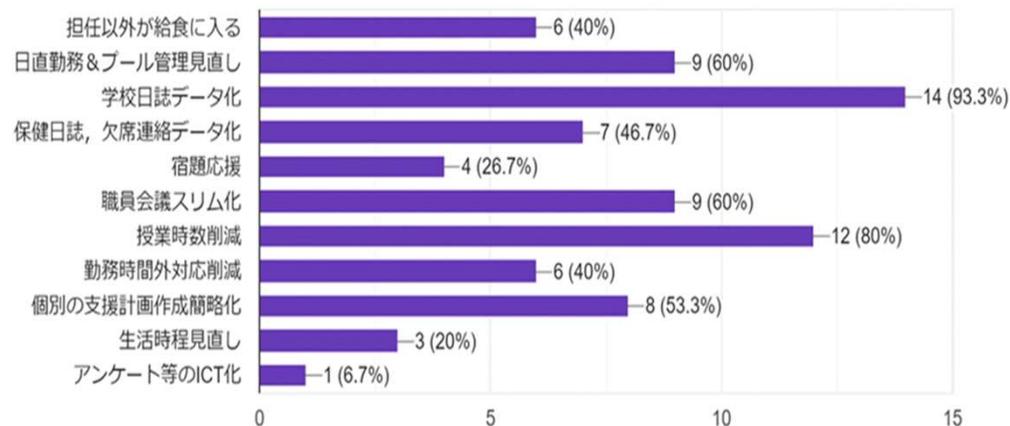
年休取得日数	0～4日	5～10日	11～15日	16～20日	21日以上	平均日数
R.4	0人	5人	6人	3人	1人	13.2日
R.5	0人	1人	5人	9人	2人	16.2日

# F小学校（参考情報） ※資料や写真など

## ◎先生方のふりかえりアンケートから

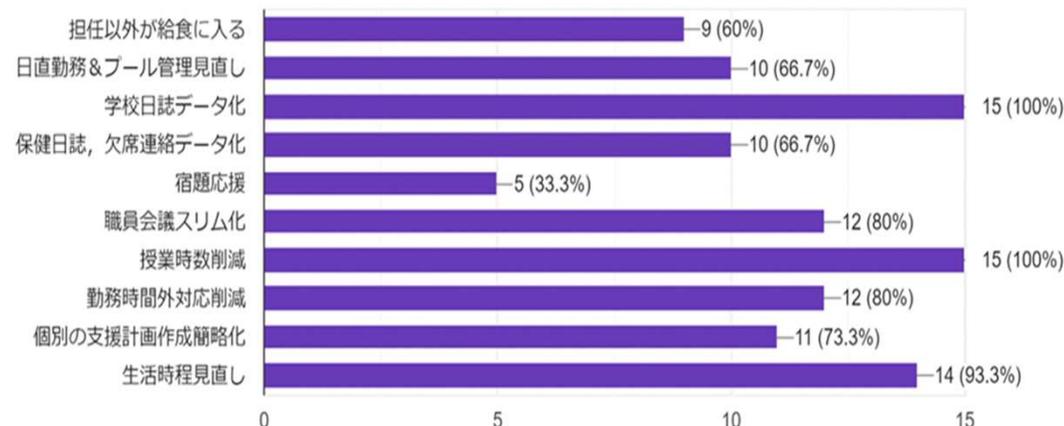
これまでの取り組みで効果的だと感じたのはどの取り組みですか。（複数回答可）

15件の回答



これまでの取り組みで来年度以降も継続すると良...感じたのはどの取り組みですか。（複数回答可）

15件の回答



○給食を担任外の先生に入ってもらったり、宿題応援があったりして、いろいろな人に助けを求めやすくなった。みんなで考えることで、働き方を良くすることができないか日ごろから考えるようになった。

△宿題応援を試みましたが、誰かに負担が移動するだけの取り組みになり、▲だなと思いました。取り組みは根本から改善するものでなければならぬと分かりました。

※基本は業務の削減が必要だと思う。今ある業務について、現場の頑張りだけでは自ずと限界があるので抜本的な人員の増員や教育委員会のサポートがよりほしい。

## G小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
生活時程の見直し（次年度から実施予定）	校務のICT化の推進
夏季休業、冬季休業の課題の精選、見直し	学校行事の見直し（負担軽減）
他校にお薦めしたい取り組みは？	
ICT活用による業務の効率化 （アンケートフォームの活用等）	他校に気を付けてほしいポイントは？ 個々の教職員の考え方に配慮しすぎない。 合意形成を丁寧に行う。（個人→部会→全体）
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
新生活時程の本格実施	PTA活動の見直し
学校行事の更なる見直し（目的の明確化）	教育課程の見直し（余剰時間の見直し等）

# G小学校（参考情報） ※資料や写真など

## < 「働き方改革」 についての情報発信（学校だより） >

### ○ 7月号

子どもたちに見せたい！！

## 生き生きと働く職員の姿！！

教職員の「働き方改革」の必要性が依然として各種メディアで報じられています。教職員の長時間労働等が社会問題として取り上げられる中、積極的に仕事と私生活の適切なバランスを保ち、心身ともに健康な状態で子どもたちに関わることで教育の質の向上を目指すものです。

私たちが生き生きと働く姿を見せることは、子どもたちの健全な労働感覚の育成につながるとともに、一人一人の教職員がゆとりをもって子どもと関わることはタイミングのよい指導へとつながっていきます。

このような趣旨にのっとり、職場環境の改善や学校行事・業務の精選など、各学校の実情に応じた改善が進められてきています。本校においても、働き方改革の必要性について職員研修の機会をもちました。全職員で働き方改革のアイデアを出し合い、より良い教育をめざして改善策を検討していきたいと思ひます。ご理解・ご協力のほどよろしくお祈ひします。

### 7～9月の主な行事

【7月】

17日(月) プレコンクール(吹奏楽部)

19日(水) 校外子ども会

20日(木) 大掃除

21日(金) 前期前半終了(夏季休業～8/23)

24日(月)～26日(水) 個人懇談

【8月】

10日(木)～16日(水) 閉庁日

24日(木) 前期後半開始

27日(日) PTA奉仕作業

【9月】

4日(月) プール学習(3.4.6年生)

6日(水) クラブ活動

14日(木) 運動会予行練習

17日(日) 運動会

緊急連絡の場合は、  
(平日)  
(土日・夜間)  
まで連絡ください。

### ○ 11月号

## 生活時程の見直しをします！

以前の便りで教育の質の向上に向けた「働き方改革」の必要性についてお知らせしたところですが、生活時程について令和6年度より次のような見直しを図っていきたく思ひます。

### ○掃除等の回数を減らし児童の下校時刻を20分程度早めます。

掃除等をカットする日を設けることで午後の時程を20分程度繰り上げ下校時刻を早めます。授業の研究・準備や事務処理、会議や家庭連絡等に必要な放課後の時間をできるだけ確保し、教育の質の向上と勤務時間を越えての長時間労働を軽減しようとするものです。

令和6年度4月からの本格実施に向けて右上のようなスケジュールで進めることとし、詳細な下校時刻や下校が早まる曜日等については12月中旬に文書でお知らせをしたいと思います。

下校時刻が早まることでお迎えや習い事などご家庭での生活も調整が必要となることあるかと思ひますが、ご理解ご協力下さいますようよろしくお祈ひいたします。

【11月10日】

全校朝礼で児童へ説明

【12月中旬】

保護者・関係機関に変更概要等を文書でお知らせ

【R6.2.5～2.9】

新生活時程お試し週間

【R6年度～】

新生活時程スタート

変更スケジュールです

# G小学校（参考情報） ※資料や写真など

令和5年度生活時間表

小学校

	月	火	水	木	金
朝の時間	8:05~8:25 全校読書	8:05~8:25 がっかチューズデー	8:05~8:25 チャレンジタイム	8:05~8:25 チャレンジタイム	8:05~8:25 本の日 (読み語り等)
職員朝礼					8:10~8:20
学級朝礼	8:25~ 8:40				
1校時	8:40~ 9:25				
2校時	9:35~10:20				
中間休み	10:20~10:40				
3校時	10:40~11:25				
4校時	11:35~12:20				
給食	12:20~13:00				
昼休み	13:00~13:35		ロング昼休み	13:00~13:35	
掃除	13:35~13:50			13:35~13:50	
5校時	14:00~14:45				
6校時		14:55~15:40	学級終礼 14:55~15:10 6校時 (委員会・クラブの無い週) 15:10~15:55 委員会活動 15:10~15:55 クラブ活動 15:10~16:10	14:55~15:40	
下校時刻	一斉下校 15:10	5校時:15:10 6校時:16:00	4校時:14:15 5校時:15:10 6校時:16:00 委員会:16:00 クラブ:16:10	5校時:15:10 6校時:16:00	4校時:14:15 5校時:15:05

## <生活時程の見直しまでの流れ>

- ① 教務素案を作成
- ② 分掌部会で検討
- ③ 主任者会で再検討
- ④ PTA役員、関係機関への周知・調整  
(学童クラブ等)
- ⑤ 管理職、教務で再検討
- ⑥ 最終案を職員会で協議・決定
- ⑦ 児童・保護者へ周知(11月、12月、1月)
- ⑧ 年度内(2月第1週)に試行実施
- ⑨ R6年度より本格実施



## 【改訂の概要】

- 10分休憩は継続
- 月、水、木 掃除なし
- 水曜日ロング昼休みの廃止
- 6校時がある学年も、5校時終了後に学級終礼を行う。

令和6年度生活時間表【案】

小学校

	月	火	水	木	金
朝の時間	8:05~8:25 全校読書	8:05~8:25 がっかチューズデー	8:05~8:25 チャレンジタイム	8:05~8:25 チャレンジタイム	8:05~8:25 本の日 (読み語り等)
職員朝礼					8:10~8:20
学級朝礼	8:25~ 8:40				
1校時	8:40~ 9:25				
2校時	9:35~10:20				
中間休み	10:20~10:35				
3校時	10:40~11:25				
4校時	11:35~12:20				
給食	12:20~13:00				
昼休み	13:00~13:30				
掃除		13:35~13:50			13:35~13:50
5校時	13:40~14:25	14:00~14:45	13:40~14:25	13:40~14:25	14:00~14:45
学級終礼	14:25~14:40	14:45~15:00	14:25~14:40	14:25~14:40	14:45~15:00
6校時		15:00~15:45	6校時 (委員会・クラブの無い週) 14:40~15:25 委員会活動 14:40~15:25 クラブ活動 14:45~15:45	14:40~15:25	
下校時刻	一斉下校 14:50	5校時:15:05 6校時:15:50	4校時:13:50 5校時:14:45 6校時:15:30 委員会:15:30 クラブ:15:50	5校時:14:45 6校時:15:30	4校時:14:10 5校時:15:05

## H小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？	
働き方改革アイデア会議（夏休み）	そうじの回数を週4回から3回へ
生活時程の見直し	月の行事予定 週案の見直し
欠席連絡のICT化	稟議の上げ方の見直し
ランチルーム給食（2～4学年合同）	
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
生活時程の見直し→15時には下校！	バス通学の児童の過ごし方、学童との調整
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
通知表を前後期の2回にする。（3学期制ですが）	

# H小学校（参考情報） ※資料や写真など

## ■通常6校時(火～金曜日)

内 容	時 間
着替え終了 (職朝8:20)	～8:15
朝の活動	8:15～8:30
朝の会	8:30～8:45
1校時	8:45～9:30
2校時	9:35～10:20
中間マラソン	10:20～10:25
中間休み	10:25～10:45
3校時	10:45～11:30
4校時	11:35～12:20
給 食	12:20～13:00
昼休み	13:00～13:30
そうじ	13:30～13:45
5校時	13:55～14:40
6校時	14:45～15:30
帰りの会	15:30～15:45



## ■通常6校時

内 容	時 間
着替え終了 (職朝なし)	～8:15
朝掃除	8:15～8:25
朝の会	8:30～8:40
1校時	8:40～9:25
2校時	9:30～10:15
中間マラソン	10:15～10:20
中間休み	10:20～10:35
3校時	10:35～11:20
4校時	11:25～12:10
給 食	12:10～12:50
昼休み	12:50～13:15
5校時	13:25～14:10
6校時	14:15～15:00
帰りの会	15:00～15:10

## <変更点>

- ・掃除を朝する。時間を5分短縮
- ・朝の会5分短縮  
(掃除から帰る時間を5分とって  
プラスマイナス0)
- ・中間休みを5分短縮
- ・昼休みを5分短縮
- ・月・水・金→朝掃除  
火→朝活動  
木→読み語り

☆なんだかんだで40分  
近く縮まりました(\*^^)v

### <時程変更への道>

- ・ R4年度に新時程お試し期間を設ける。（5パターン）
- ・ 試行後、児童、教職員のアンケート実施。
- ・ 児童クラブ（2箇所）、放課後デイサービス、バス会社へ時程の変更について相談 と報告。
- ・ 新時程決定後、保護者へR5年度2学期より時程変更することを連絡。
- ・ R5年度にさらに絞った新時程でお試し期間を設ける。（2パターン）
- ・ 児童、教職員へのアンケートを実施し、最終決定。
- ・ 2学期より新時程開始。

### <注意点>

・ 新時程に移行するにあたり、今までより30分近く早く児童クラブへ行くため、児童クラブの職員さんの勤務時間などの変更をしなければならなくなった。教育委員会を含め、役場などへの交渉も必要となった。そのため、管理職（特に校長）の働きかけがとても重要になり、たくさん動いてもらった。

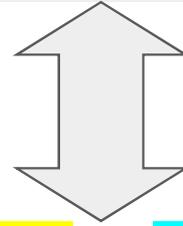
### <今後について>

2学期の学校評価で教職員から生活時程の変更が概ね高評価だった。この空いた時間を有効に使って、退勤時間が早くなるように個々の働き方についての意識を高めることも必要だと感じた。（時間が空いたから会議を入れる等、会議などの精選の必要性）

# I小学校（6学級+特支学級2専科2、1クラス15～22名）（実践発表）

今年度の取り組み内容は？ <b>赤字は実践紹介に入れたものです。</b>	
①中学校と合同での生活時程変更→放課後時間の創出	②通信表の作業量を減らす。（全体所見年1回）
③学校行事の精選（年3回→年2回、学芸会廃止）	④連絡のICT化 出欠のICT管理 家庭への配布資料の電子化
⑤職員室の整理、個人の棚配置	⑥授業時数の削減→できなかった研修、やりたかった会議の実施
⑦ロイロノートスクールの導入 授業成果物のチェックなど	⑧検討中：留守番電話導入、学級会計の作業簡素化 フレックス制の導入
他校にお薦めしたい取り組みは？	他校に気を付けてほしいポイントは？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活時程の変更→時間がないと話合いもできないし何も進まない。最優先でやりたい。</li> <li>・業務のICT化→使えば使うほど他に波及する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートを「みんなでやる」という意識づくり</li> <li>・関係各所への根回し 特に学校の生活時間の変更は学校だけにとどまらず子どもの生活の様々な部分や地域社会への影響がある。</li> </ul>
次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）	
生んだ時間をどうやって子どもや自分に還元するか	個別最適な学びに向けた授業改善
授業時数の削減と研修の計画 地域の他の学校と足並みをそろえることで、研究会なども開催できる？	多い学校行事、地域行事やそれに向けた課外活動の見直し

管理職、小中教務



A部会

生活時程の見直し  
など大きい部分

B部会

すぐできそう、自分たち  
でできそうな小さい部分

手上げ方式

全職員

# I小学校（参考情報） ※資料や写真など

小学校 生活時程（案）

8:15 ~ 8:25	朝読書・職朝
8:25 ~ 8:35	学級朝礼
8:40 ~ 9:25	1校時
9:30 ~ 10:15	2校時
10:15 ~ 10:40	パワーアップ・業間休憩
10:40 ~ 11:25	3校時
11:30 ~ 12:15	4校時
12:15 ~ 12:20	給食準備
12:20 ~ 12:55	給食
12:55 ~ 13:25	昼休憩
13:25 ~ 13:35	掃除
13:40 ~ 14:25	5校時
14:25 ~ 14:40	終礼 SB   4 : 5 0
14:30 ~ 15:15	6校時
15:15 ~ 15:30	終礼 SB   5 : 4 0
15:35 ~ 16:30	課外活動 SB   6 : 4 0

## ①生活時程の変更の経緯

【R2年度まで】

小中一貫の体制としてR3年度から始めるために小中学校の先生方で時程が作られる。小中の教師が校種をまたいで授業ができるよう、中学校の生活時程にそろえる形で組み立てていた。小学校児童の下校が16:40であった。

【R3年度】

R2年度までに作成した時程で一年間を行う。下校が遅い分児童の学校の生活には余裕がある半面、退勤時間まで児童が残るため先生方の業務は残業にならざるを得ない状態であり、学校評価で時程の見直しについて声があがる。

【R4年度】

R2年度までの時程を見直すための話し合いを2学期ごろから始める。小中で合わせて時程を代えられず、小学校のみで話し合っ2学期末、3学期に見直し案を実施した。

【R5年度】 ※働き方改革挑戦校になる

働き方改革のプロジェクトチームが2学期ごろから動き出し、小中合わせた時程変更案を作成した。これを試行し3学期から完全実施できるよう目指している。

# 本校の働き方改革プロジェクトチームの仕事の進め方 B部会（小さな改革チーム）

## 【ルール】

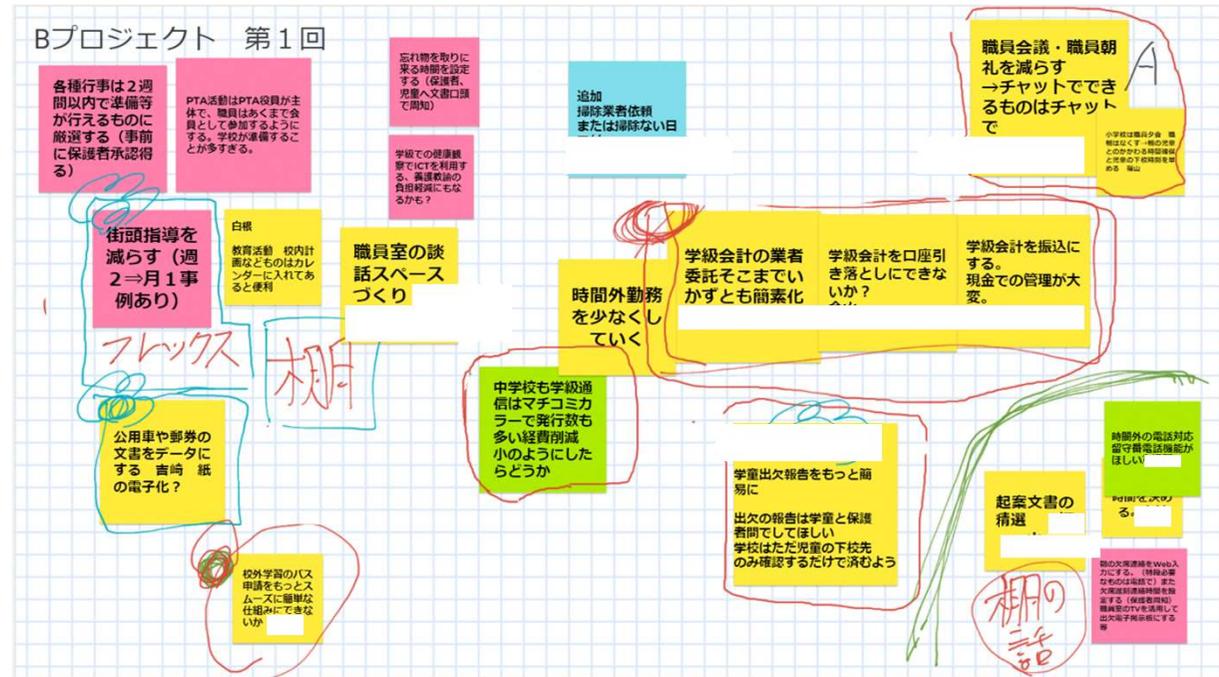
- ◎すぐ取り掛かれそうな改革をできるだけやろう！
- ◎できるだけ週1回あつまろう！
- ◎勤務時間外はやめよう！
- ◎ICTをつかっていこう！

## 【アイデア】

- ◎思いついたことはチャットにメモ
- ◎ジャムボードで話し合いを行う
- ◎できない！は禁句

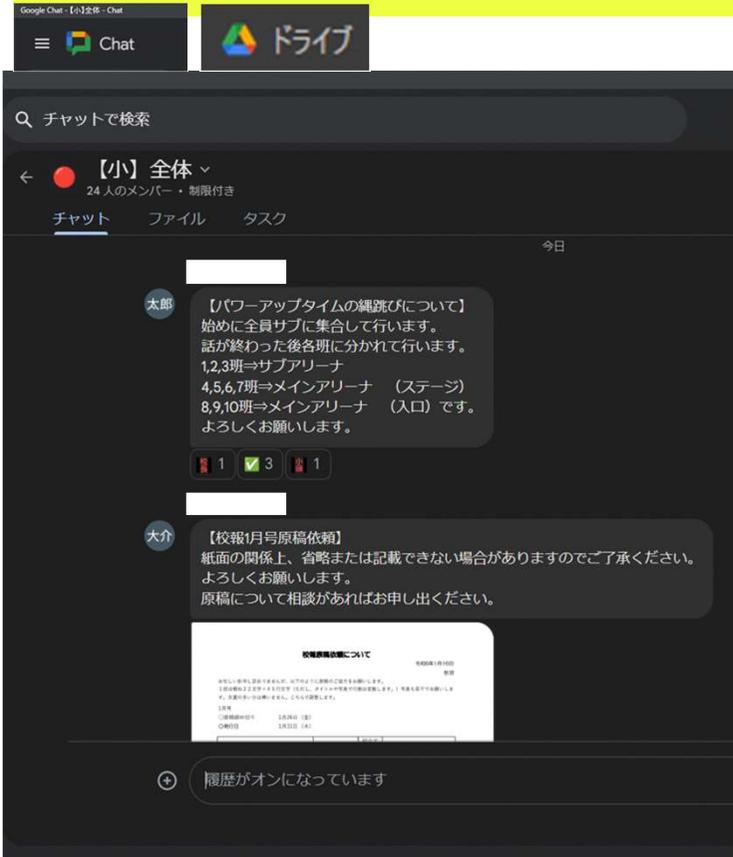
## 【取り組んだ（でいる）こと】

- ◎文書の回覧をなくした（チャットで。）
- ◎連絡にチャットをつかうようにした。
- ◎起案文書を精選した。
- ◎留守番電話導入いれたい！
- ◎学級会計作業を楽にしたい！
- ◎フレックス制導入したい！



上のように話し合いながらボードを更新していきましました。

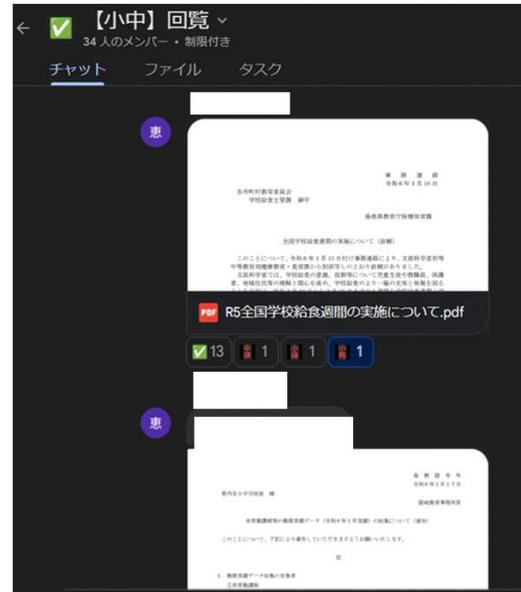
## ④連絡のICT化 Googleチャット、ドライブの活用



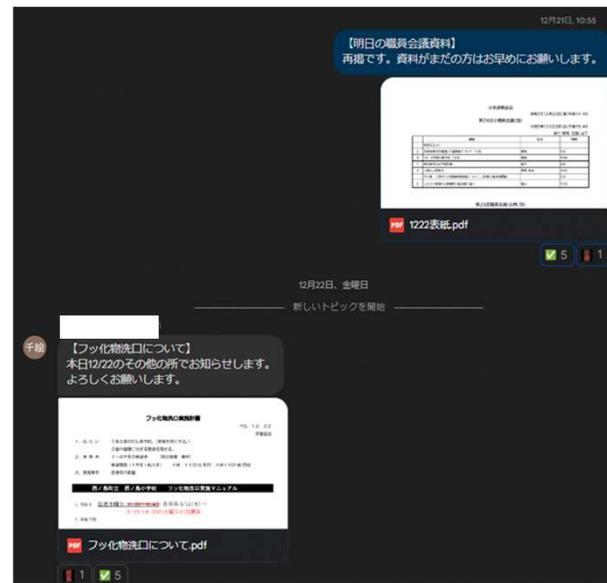
←連絡は Googleチャットで共有しました。見るくせをつけるところから始めました！



↑管理職、教務には専用のスタンプを設けており、チェックの様子が分かります。



←回覧もチャットで行うようにしました。バインダーが回らなくなり、いつでもどこでもチェックできる、事務作業が減るなど非常に効果がありました。



←職員会議の資料は専用のチャンネルを設けてそこにアップ。各自のもつデバイスや紙でほしい人は自分で印刷するようにして、職員会議資料の印刷の手間、紙、インクの使用量削減に繋がりました。  
紙代約5万円インク代約11万円減（のみで）

17 1月, 水

- 終日

校内書初め展示 (3日目/9日間)  
 × (田中) R6全国学力調査準備のための「学校基本情報の確認(C)・(D)」及びオンライン実施に関する実施希望  
 5年 交流スキー引率 (1日目/3日間)  
 ICT先進地視察 (1日目/3日間)  
 代休指定期限: 11/23出張用務  
 × あらなみ一次校正  
 自己目標評価シート様式1 ×切16:40まで

- 10:00~16:00
- 10:00~16:00

働き方改革挑戦校研修5@オンライン  
 働き方改革挑戦校研修(

←リアルタイムでカレンダーの更新をすることで、  
 情報共有の手間を省く

✎ 🗑️ ✉️ ⋮ ✕

### 働き方改革挑戦校研修5@ オンライン

1月17日(水曜日)・10:00~16:00

📄 [会議メモを使用](#)  
 新しいドキュメントを開始してメモをキャプチャ

📎 PDF

📅

←関係する文書を担当がカレンダーに添付してくれて、書類をさがさなくてよい

18 1月, 木

- 終日
- 10:30~13:00

校内書初め展示 (4日目/9日間)  
 R6全国学力調査準備のための「学校  
 5年 交流スキー引率 (2日  
 ICT先進地視察: 1日目/3日間)  
 ]先進地視察( 中)  
 × 評価育成シート様式2 ×切AMまで  
 評価育成シート様式2 ×切AMまで  
 ベルシオン訪問10:30-13:00

## ④出欠のICT管理 家庭への配布資料の電子化



サイト > モバイルサイト > お知らせの更新

新規登録

1/34ページ 前へ 次へ

日付	タイトル	編集	削除
2024年01月10日	漢字検定のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年12月22日	学級通信 No.39のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年12月18日	学級通信のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年12月15日	学級通信 No.38のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年12月08日	学級通信 No.37のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年12月01日	学級通信 No.36のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年11月17日	学級通信 No.35のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年11月16日	学級通信のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年11月10日	学級通信 No.34のお知らせ		<input type="checkbox"/>
2023年11月01日	学級通信 No.33のお知らせ		<input type="checkbox"/>

←マチコミのアプリを使用して、保護者への配布文書を電子化。

↓欠席連絡は保護者がアプリを通じて連絡してくるものをこちらでチェック

受信:01/17 07:25 1/17(水)	●年生	遅	
受信:01/17 07:09 1/17(水)	●年生	遅	
受信:01/16 00:01 1/17(水)	●●年生	欠	

### 小学校修学旅行回

06月30日 17:41

港までの車内は、レク係によるピンゴ大会で、到着ギリギリまで大盛り上がり。みんな元気に七瀬港へ到着しました。七瀬港では、3日間お世話になった添乗員さんと運転手さんにお礼のあいさつ。お2人とはここでお別れして、レインボーで予定どおり出発しました。

【保護者の皆さま】

レインボーJの到着時刻に強い雨が降ることが予想されるため、別府港での解散式は行いません。お子さんは、他の乗客の方のあとに下船し、下船後はすみやかに迎えの保護者の方に引き渡しますので、ご協力ください。

お家で楽しいみやげ話を、ぜひ聞いてあげてください！

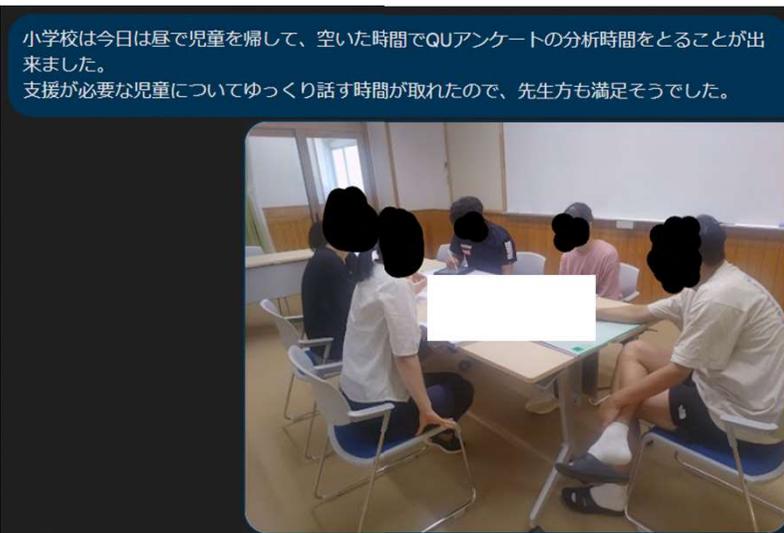


↑校外学習などの様子をアプリのタイムラインで保護者さんとも共有しています。

## ⑥授業時数の削減→できなかった研修、やりたかった会議の実施

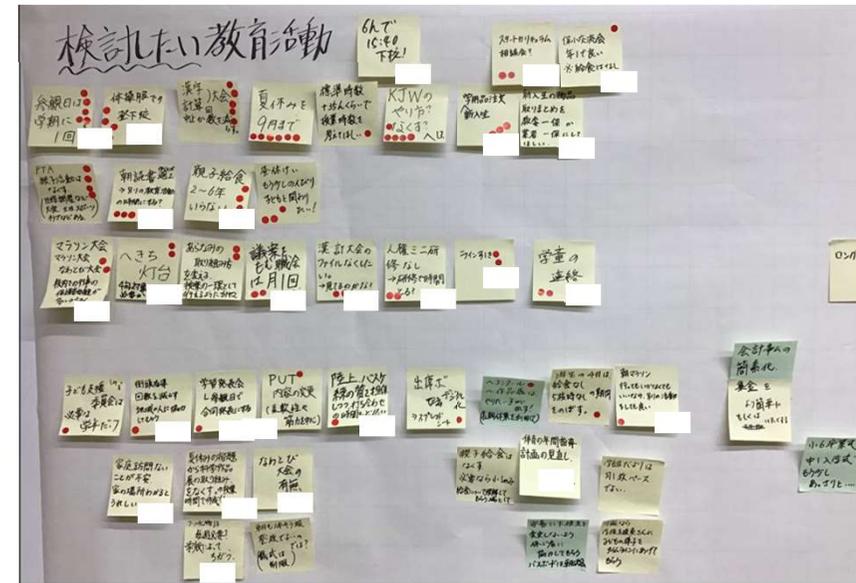
5年			6の1		
総時数	行事	授業	総時数	行事	授業
96	16	80	97	17	80
105	9	96	105	9	96
132	9	123	132	18	114
72	4	68	73	4	69
34	3	31	34	3	31
115	10	105	115	10	105
124	16	108	124	16	108
97	6	91	116	7	109
90	3	87	90	3	87
100	13	87	100	4	96
113	3	110	113	3	110
87	21	66	62	16	46
1165	113	1052	1161	110	1051
		1015			1015
		37			36

↑前年度のうちから、一日単位で授業時数管理をしておいて、見通しをもちつつ思い切って午後カットするなどして研修や会議を計画。



↑QU結果分析の話し合い。  
↓保小連携体力向上研修。会議の予定をつぶさずにできた。

昨年度から始まった保育園の先生との共同研修の『保小連携体力向上研修』の様子です。今日は1~5年生を5hで下校させ、15:10から行いました。(6年生は修学旅行なので時数減にならない)  
昨年度は職員会議を一つ潰してなんとか15:40から1時間程度の研修でしたが、今年は時程を変えたことでたっぷり時間を取ることができています、しかも職員会議を潰さなくてできています！



↑ 3学期は毎週火曜日を全校5校時下校にして、新年度計画をする時間を確保しています。新年度計画に全7回時間をとってやっていく予定です。  
これまでは、この機会が取れず、PDCAサイクルを上手く回せていない現状がありました。

この取り組みの本丸は、できた時間をどうやって子どもに還元できるかだと思っています。子どもに直接使う時間だけでなく、研修・会議など我々がインプットや情報共有・議論する場を作ることでも子どもの成長に繋がれると思っています。